

## 農工分野の産学連携を信金のプラットフォームで推進 東京農工大学と飯能信用金庫が包括協定を締結

令和6年3月28日(木)、飯能信用金庫（理事長：松下寿夫／埼玉県飯能市）と国立大学法人東京農工大学（学長：千葉一裕／東京都府中市）は連携・協力に関する包括協定を締結いたしました。



東京農工大学は今年で150周年を迎える工業・農業分野に特化した大学であり、スタートアップ支援において長い歴史がある日本有数の大学です。

また、飯能信用金庫はこれまで営業エリアの大学・短大12校と協定を結び、教育や研究開発における産学連携をすすめてまいりました。すでに、飯能信用金庫では、BPキャピタル株式会社（代表取締役社長：松多洋一郎／東京都中央区）が設立したTUAT1号ファンドへのLP出資を通じて、東京農工大学発のベンチャー支援に取り組んでいるところであります。

今回の包括協定を通じ、農業・工業の両分野に強みを持つ東京農工大学と、長年に渡り地域企業の経営支援に携わってきた飯能信用金庫が連携し、研究シーズ展開や交流セミナーを通じ、地域が抱える様々な課題の解決を目指します。

【本件に関するお問い合わせ】

飯能信用金庫 地域支援部 地域活性化推進グループ 井関 宮島  
☎042-972-8123（平日9:00~17:00） ✉tiiki@hanno-shinkin.jp

